



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東名

上場会社名 CDS株式会社

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

TEL 052-587-5410

平成26年9月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	4,043	5.8	462	11.0	466	13.2	258	261.7
25年12月期第2四半期	3,823	△5.0	416	△32.1	411	△32.6	71	△81.0

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 255百万円 (207.8%) 25年12月期第2四半期 83百万円 (△77.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	37.87	—
25年12月期第2四半期	10.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年12月期第2四半期	5,650	—	3,952	—	69.9	579.47
25年12月期	5,643	—	3,832	—	67.9	561.94

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 3,952百万円 25年12月期 3,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	16.00	—	20.00	36.00
26年12月期	—	18.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年12月期1株当たり配当金20円の内訳は、普通配当16円、記念配当4円であります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,237	11.0	1,153	10.5	1,139	9.3	611	37.6	89.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	6,924,400 株	25年12月期	6,924,400 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	104,000 株	25年12月期	104,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	6,820,400 株	25年12月期2Q	6,649,329 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減、円安基調の影響による原材料価格の高騰、ウクライナ情勢の緊迫化、中国経済の減速など景気の下振れリスクもありましたが、政府の経済・金融政策による効果を下支えに企業収益や雇用情勢の改善が進んだほか、株価上昇、設備投資の持ち直しが見られるなど、景気動向は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループは、情報家電産業、産業設備・工作機械産業、自動車産業、医療機器産業などに代表される「ものづくり企業」へのサービスに特化し、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム開発事業を展開してまいりました。とりわけ近年においては、グループ各社の多種多様な特長と強みを活かすことで、グループ内シナジーを創出し、IT技術を駆使して「ものづくり」に関わる顧客企業の製品開発から製造・販売・サービスまでのビジネスプロセスの各段階をバックアップできる「技術情報統合マネジメント企業」として、顧客価値の向上に寄与いたしております。

また、高度化・多様化する顧客ニーズに対し、常に最新鋭の情報技術力を駆使するとともに、当社独自の特長ある技術力を提案することで、「ものづくり企業」へのサポート体制を強化してまいりました。今後も、“提案力の強化”“高付加価値技術による他社との差別化・競争力強化”に注力し、“既存顧客の囲い込み”“新規顧客の開拓”を進めるほか、ロボットビジネスの確立をはじめとする“新規事業・新規領域の拡大”“M&Aによる規模の拡大”を図ってまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高4,043百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益462百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益466百万円（前年同期比13.2%増）、四半期純利益258百万円（前年同期比261.7%増）の増収増益となりました。

なお、当社グループでは、株式会社バイナスが手掛けるFA・ロボットシステムを中・長期的な戦略ビジネスとして位置づけ、新たな工場を開設し、平成26年4月より操業を開始しております。今後は、新工場の本格稼働を推進し、ロボットエンジニアリングビジネスの確立に向けた業務展開を積極的に進めてまいります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

(ドキュメンテーション事業)

ドキュメンテーション事業におきましては、多言語取扱説明書、組込み型マニュアルといった当社独自の強み・新技術を活かした新規顧客の開拓、タブレット端末のビューワ開発に注力したほか、グループ各社との連携強化による総合力を活用した規模の拡大とブランド力の向上、システム化を進めることでの利益率向上と大型案件の獲得に取り組んできた結果、売上高は1,875百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は470百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業におきましては、独自のロボット・FAシステムを軸とした株式会社バイナスの高収益化、既存顧客中心の技術者派遣による着実な収益確保と利益率向上、グループ各社との人材交流による技術系要員の育成とグループシナジーによる新製品開発・拡販に取り組んできたほか、今春より稼働しております新工場によるロボットエンジニアリングビジネスの本格展開に注力してきた結果、売上高は866百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益は181百万円（前年同期比51.8%増）となりました。

(技術システム開発事業)

技術システム開発事業におきましては、コア技術を活かした新ビジネス・オリジナル商品の創生による業務拡大、事業拡大に向けた体制整備、顧客パートナーとの連携強化に取り組んできた結果、OA関連機器販売増による売上増加もありましたが、主力のシステム開発は主要顧客先からの発注遅れにより、売上高は1,430百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は94百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,650百万円であり、前連結会計年度末より6百万円増加しております。内訳としては、流動資産が176百万円減少の3,515百万円、固定資産が182百万円増加の2,135百万円であり、流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で285百万円、電子記録債権で115百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金で556百万円、商品及び製品で14百万円の減少があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、有形固定資産が218百万円増加した一方、のれんの償却により「のれん」が25百万円減少したこと等であります。

なお、有形固定資産の増加の主な要因は、当第2四半期連結会計期間において、国内連結子会社である株式会社バイナスの新工場を建設したことによるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より113百万円減少し、1,697百万円となりました。内訳は、流動負債が71百万円減少の1,672百万円、固定負債が41百万円減少の25百万円であり、流動負債の変動の主な要因は未払法人税等が119百万円、未払金73百万円、その他が55百万円（主に未払消費税等34百万円）増加した一方で、支払手形及び買掛金が256百万円、短期借入金が56百万円減少したこと等であります。

また、固定負債の変動の主な要因は、長期未払金が40百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、3,952百万円であり、前連結会計年度末より119百万円増加しております。要因としては、主に利益剰余金が121百万円増加したためであり、これは四半期純利益258百万円と配当金の支払136百万円によるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で783百万円を獲得しましたが、投資活動で327百万円、財務活動で193百万円の資金を要したことにより、前連結会計年度末より257百万円増加の1,196百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、営業活動で783百万円（前年同期比630百万円増）の資金を獲得しました。これは、税金等調整前四半期純利益460百万円（前年同期比322百万円増）、売上債権の減少439百万円（前年同期比274百万円増）、その他流動負債の増加93百万円（前年同期比17百万円減）、法人税等の還付108百万円（前年同期比106百万円増）等の資金の増加要因があった一方、仕入債務の減少255百万円（前年同期比207百万円増）、法人税等の支払額169百万円（前年同期比59百万円減）等の資金の減少要因があったことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動では有形固定資産の取得による支出が267百万円（前年同期比69百万円減）、無形固定資産の取得による支出が26百万円（前年同期比9百万円増）あったこと等により、327百万円の資金を要しました（前年同期比53百万円減）。

なお、有形固定資産の取得による支出の主な内容は、国内連結子会社である株式会社バイナスの新工場建設のために支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動としては、短期借入金の純減額56百万円（前年同期は短期借入金の純増額77百万円）、配当金の支払額136百万円（前年同期比33百万円増）があったこと等により、193百万円（前年同期は資金の獲得342百万円）の資金を要しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月14日の「平成25年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	993,290	1,279,277
受取手形及び売掛金	2,085,418	1,529,083
電子記録債権	221,086	336,153
商品及び製品	38,503	23,975
仕掛品	134,202	120,452
原材料及び貯蔵品	14,382	15,154
その他	207,114	213,703
貸倒引当金	△2,700	△2,700
流動資産合計	3,691,297	3,515,100
固定資産		
有形固定資産	1,043,695	1,261,754
無形固定資産		
のれん	491,815	466,063
その他	161,450	156,602
無形固定資産合計	653,266	622,665
投資その他の資産		
その他	267,901	263,075
貸倒引当金	△12,250	△12,400
投資その他の資産合計	255,651	250,675
固定資産合計	1,952,613	2,135,095
資産合計	5,643,910	5,650,196
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,026	142,482
短期借入金	596,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	1,285	1,056
未払金	338,969	412,849
未払法人税等	39,544	159,207
賞与引当金	125,338	118,200
受注損失引当金	7,404	6,758
その他	236,632	291,645
流動負債合計	1,744,199	1,672,200
固定負債		
長期借入金	2,730	2,064
長期未払金	40,763	—
退職給付引当金	21,039	21,467
資産除去債務	2,454	2,200
固定負債合計	66,988	25,731
負債合計	1,811,187	1,697,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	1,714,608	1,836,514
自己株式	△25,436	△25,436
株主資本合計	3,801,267	3,923,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,358	8,172
為替換算調整勘定	28,096	20,917
その他の包括利益累計額合計	31,454	29,089
純資産合計	3,832,722	3,952,263
負債純資産合計	5,643,910	5,650,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,823,564	4,043,610
売上原価	2,579,133	2,710,457
売上総利益	1,244,430	1,333,152
販売費及び一般管理費	827,664	870,421
営業利益	416,765	462,731
営業外収益		
受取利息	168	233
受取配当金	330	1,471
助成金収入	—	3,485
補填金収入	519	—
還付加算金	—	1,841
その他営業外収益	752	2,010
営業外収益合計	1,770	9,042
営業外費用		
支払利息	1,315	2,015
支払手数料	1,743	80
支払融資手数料	2,730	2,986
為替差損	1,044	547
その他営業外費用	60	131
営業外費用合計	6,893	5,760
経常利益	411,642	466,013
特別利益		
固定資産売却益	—	231
特別利益合計	—	231
特別損失		
固定資産除却損	448	6,012
従持信託分配金	274,088	—
その他特別損失	—	150
特別損失合計	274,536	6,162
税金等調整前四半期純利益	137,106	460,082
法人税、住民税及び事業税	76,224	179,359
法人税等調整額	△10,540	22,407
法人税等合計	65,683	201,767
少数株主損益調整前四半期純利益	71,422	258,314
四半期純利益	71,422	258,314

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,422	258,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,158	4,813
為替換算調整勘定	10,577	△7,179
その他の包括利益合計	11,736	△2,365
四半期包括利益	83,159	255,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,159	255,949
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,106	460,082
減価償却費	49,049	63,643
長期前払費用償却額	222	212
のれん償却額	23,646	24,362
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,972	△7,138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	557	562
受取利息及び受取配当金	△498	△1,704
支払利息	1,315	2,015
固定資産除却損	448	6,013
売上債権の増減額 (△は増加)	164,954	439,095
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,333	27,500
その他流動資産の増減額 (△は増加)	4,222	△17,751
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,326	△255,468
その他流動負債の増減額 (△は減少)	111,212	93,349
その他固定負債の増減額 (△は減少)	△44,498	△40,763
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,795	31,690
その他	△1,501	19,066
小計	380,755	844,767
利息及び配当金の受取額	438	1,560
利息の支払額	△1,320	△1,960
法人税等の支払額	△229,012	△169,729
法人税等の還付額	1,988	108,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,850	783,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△56,132	△54,000
定期預金の払戻による収入	24,000	24,000
有形固定資産の取得による支出	△337,428	△267,924
有形固定資産の売却による収入	—	231
無形固定資産の取得による支出	△17,541	△26,903
その他	6,379	△3,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380,723	△327,683
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	77,000	△56,000
長期借入金の返済による支出	△427	△707
株式の発行による収入	93,290	—
自己株式の売却による収入	275,671	—
配当金の支払額	△102,554	△136,420
リース債務の返済による支出	△452	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	342,528	△193,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,364	△4,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	125,019	257,675
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,177	938,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,305,197	1,196,642

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,811,849	658,385	1,353,329	3,823,564	—	3,823,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,083	746	11,141	15,971	(15,971)	—
計	1,815,932	659,132	1,364,470	3,839,535	(15,971)	3,823,564
セグメント利益	418,158	119,295	124,800	662,255	(245,489)	416,765

(注) 1. セグメント利益調整額△245,489千円には、セグメント間取引消去6,486千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,975千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,869,922	865,709	1,307,978	4,043,610	—	4,043,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,411	344	122,712	128,468	(128,468)	—
計	1,875,334	866,053	1,430,691	4,172,079	(128,468)	4,043,610
セグメント利益	470,434	181,043	94,894	746,372	(283,641)	462,731

(注) 1. セグメント利益調整額△283,641千円には、セグメント間取引消去2,466千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△286,107千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。